大垣市役所新庁舎完成開所記念

文化勲章受章者

守屋多々志の先人と郷土ゆかりの画家たち

とき

2020年
1/5(日) ～ 1/24(金)
8：30 ～ 17：15
（土日祝日除く；1/5は正午まで）

ところ

大垣市役所新庁舎１階
多目的スペース

大垣に生まれた日本画家、守屋多々志。
確かな考証と現代的な解釈に基づいた歴史画は高く評価され、文化勲章を受章しています。
その先人には、明治以後、西洋美術と出会った日本の美術界で、新しい日本絵画の創出を目指し、道を切り開いてきた画家たちがいました。

このたびの大垣市役所新庁舎の完成開所に伴い、本市出身の守屋多々志をはじめ、文化勲章受章者や郷土ゆかりの画家たちの絵画を寄贈いただきました。

守屋多々志とその先人たちと共に、郷土ゆかりの画家たちの作品をご鑑賞ください。

	作品	作者（敬称略）	寄贈者（敬称略）
展示作品	霽れる	土屋禮一	株式会社大垣共立銀行
	紅白梅	守屋多々志	大垣西濃信用金庫
	富嶽茶園	守屋多々志	株式会社大光
	若武者	守屋多々志	河合石灰工業株式会社
	積翠	横山大観	サンメッセ株式会社
	松渓水車	川合玉堂	株式会社セリア
	祭り	前田青邨	東海サーモ株式会社
	紅白梅	前田青邨	日本耐酸壜工業株式会社
	土手	土屋禮一	野原電研株式会社
			株式会社丸順
			矢橋ホールディングス株式会社
	３つのピラミッド	矢橋六郎	矢橋則雄
	ベニスの宮殿	矢橋六郎	

作者プロフィール （敬称略）

横山大観 （1868-1958）

現在の茨城県水戸市に生まれる。東京美術学校（現東京藝術大学）の第一期生として、岡倉天心や橋本雅邦に学ぶ。天心指導のもと、1898（明治 31）年、日本美術院の創立に参加。線描を抑えた独特の没線描法である「朦朧体（もうろうたい）」を確立する。1913（大正 2）年には、活動が途絶えていた日本美術院を下村観山らと再興した。第 1 回文化勲章受章者。帝国芸術院（現日本藝術院）会員。

川合玉堂 （1873-1957）

現在の愛知県一宮市に生まれる。幼少期を岐阜市にて過ごした。橋本雅邦に師事し、岡倉天心や横山大観らの創立した日本美術院に創立当初より参加。1907（明治 40）年には、第 1 回文展（文部省美術展覧会）の審査員に任命。1940（昭和 15）年には、大観に続く第 2 回文化勲章受章者となった。昭和の大饗の儀では、悠紀地方（滋賀県）風俗歌屏風を担当した。帝国芸術院会員。

守屋多々志（1912-2003）

大垣市船町に生まれる。前田青邨に師事。東京美術学校卒業時には川端玉章賞を受賞。1941（昭和 16）年の再興日本美術院（院展）初入選以来、確かな考証に基づいた歴史画を多く描く。法隆寺金堂壁画再現模写では前田青邨班に参加。高松塚古墳壁画模写にも携わった。また高野山金剛峯寺別殿の襖絵を作成した。2001（平成 13）年、大垣市守屋多々志美術館開館。文化勲章受章。

前田青邨 （1885-1977）

現在の中津川市に生まれる。梶田半古の塾にて学んだ。院展を舞台に活躍。歴史画や花鳥画などを多く手がけた。東京藝術大学日本画主任教授。1955（昭和 30）年、文化勲章を受章。1967（昭和 42）年には法隆寺金堂壁画再現事業の総監修に安田靫彦と共に就任した。また 1973（昭和 48 年）には、高松塚古墳壁画模写事業の総監修者となった。帝国芸術院会員。

土屋禮一 （1946- ）

日本画家、土屋輝雄の長男として養老町に生まれる。加藤東一に師事。1969（昭和 44）年、改組第 1 回日展にて特選・白寿賞受賞。1999（平成 11）年、岐阜市瑞龍寺の本堂障壁画にて初の本格的な水墨画に挑んだ。2009（平成 21）年、日本藝術院会員に任命。2019 年、大嘗祭の後の大饗の儀に飾る主基地方（京都府）風俗歌屏風を担当した。日展副理事長。

矢橋六郎 （1905-1988）

大垣市赤坂町に生まれる。東京美術学校を卒業後、渡欧。山口薫や村井正誠らと交流する。帰国後は、山口、村井らと新時代洋画展や自由美術家協会、モダンアート協会の創立に参画。洋画家として活躍する一方、家業の矢橋大理石商店（現矢橋大理石）を担い、多数の大理石モザイクを制作した。世界モザイシスト協会の研究会に東洋代表として招待を受けるなど、日本のモザイク作家の代表として活躍した。